早稲田大学情報生産システム研究センター 助手細則

(細則の目的)

第1条 早稲田大学助手規程第11条に基づき、早稲田大学情報生産システム研究センター(以下「センター」という。)の助手制度の適正な運用をはかるため、この細則を定める。

(助手制度の目的)

第2条 センターは、早稲田大学助手規程第1条第1項に基づき、研究者となるべき者の養成を目的として助手を置く。

2 センターの助手制度は、本大学をはじめ他大学および他機関において、教員または研究者となりうる若手研究者を育成し、社会への接続を高めると同時に、大学における教育・研究水準の維持と向上を図ることを目的とする。

(助手の嘱任)

第3条 助手は、博士後期課程に在学する者で、学術研究上の活躍が十分に期待される優秀な人物で、助教・助手審査委員会が選考した者について、センター管理委員会(以下「管理委員会」という。)が選任し、情報生産システム研究科(以下「研究科」という。)運営委員会の承認を得て嘱任する。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に該当する者は助手となることができない。

- 一 本大学大学院以外の博士後期課程在学者
- 二 以前に本大学助手の職歴を有する者

(助手候補者の推薦)

第4条 センター兼任センター員(研究科運営委員会の構成員である者に限る。)は、助手候補者をセンター所長(以下「所長」という。)に推薦することができる。

(助手の任期)

第5条 助手の任期は原則として、2年(年度途中の嘱任者は、2年目の3月末日まで)とし、毎年度末に業績の確認を行う。

2 前項の任期満了後、任期を1年として1回に限り再任用することができる。

3 前項の規定により、助手を再任用する場合、助教・助手審査委員会が行う審査に基づき、管理委員会が承認する。

4 第1項および第2項の規定にかかわらず、助手が博士学位を取得したときは、管理委員会の議を経て助教に資格を変更するものとする。この場合の助教としての任期は、助手の任期の残存期間とする。

(助手の指導)

第6条 助手は、所長の監督の下に、管理委員会が承認したプロジェクト研究に従事し、指導教員の指導に従うものとする。

2 前項の指導教員は、助手候補者の推薦を行った者とする。ただし、管理委員会が必要と認めるときは、推薦を行った者以外の者を選任し、助手の指導を行わせることができる。

3 指導教員は、助手の研究、進路等に関して適切な助言と勧告を行うものとする。

(助手の業務)

第7条 助手は、センターに設置されたプロジェクト研究に従事するとともに、次の各号に定める業務を行うものとする。

- 一 センターおよび研究科における実験、演習等の補助
- 二 センターおよび研究科における入学式、卒業式、講演会その他の行事運営に係る業務
- 三 研究科における入学試験、論文審査等実施に係る業務
- 四 その他所長が必要と認める業務

(助手の兼職)

第8条 助手は、他の職に就き、または他の学校の教員になることができない。ただし、大学教員の兼業に関する規程および次の各号を満たす場合は、他大学の非常勤講師等を兼職することができる。

- 一 職務の内容が、本大学助手としての本務に支障をきたさず、かつ、社会的にみて、大学の品位をおとしめるものでないこと。
- 二 本務と特別の利害関係発生のおそれがないこと。
- 三 授業担任時間が、年間平均週4時間以内であること。
- 四 管理委員会が適当であると認めたものであること。

(研究報告書の提出)

第9条 助手は毎年度末までに、所長へ研究報告書を提出しなければならない。

改正 2011 年 10 月 24 日

改正 2013 年 4 月 22 日 (第4条)

改正 2016 年 10 月 17 日

附 則

この細則は、2018年4月1日から施行する。